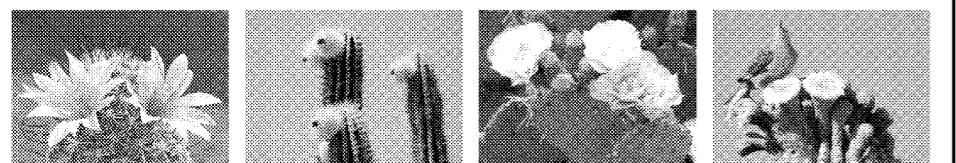


いのち  
苛酷な自然にあっても、生命は花を咲かせます。



私たちは、生命の不思議を見逃しません。

キッセイ薬品は、世界の人々の健康のため、さまざまな分野の新薬の研究・開発に、とり組んでまいります。

**KISSEI**  
キッセイ薬品工業株式会社

本社: 東京都文京区本郷三丁目1番地  
東京本社: 〒113-0022 東京都文京区本郷三丁目1番地  
FAX: 03-5312-0022 東京都文京区小石川三丁目1番3号キッセイ小石川ビル  
U R L: http://www.kissei.co.jp/

シェーグレン症候群とドライマウス、前立腺肥大症と排尿障害などについての分かりやすい情報をウェブサイトで提供しています。

キッセイ健康劇場 検索

人生は長い。だからこそ考えたいのは

# 健康寿命。

日本新薬は、一人ひとりの命のために、健康寿命が伸びる、そんな未来のために、新しい薬を創っています。

健康未来 创ります  
日本新薬  
NIPPON SHINYAKU CO., LTD.  
http://www.nippon-shinyaku.co.jp



## 「子宮内膜症」治療に新たな選択肢を

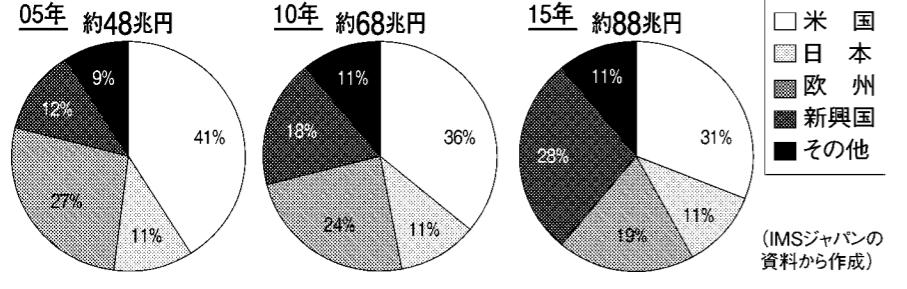
ご存じですか? いま、「子宮内膜症」は治療の選択肢が拡がり、「子宮内膜症」による月経痛などの痛みを緩和させる薬のほか、病巣に直接作用し、症状を軽減させる薬などがあります。発症すると、閉経まで長い期間つきあつていて「子宮内膜症」は仕事・結婚・妊娠・出産・育児など、あなたのライフステージや生活スタイルに合わせて、医師とともに最適な治療方法を選びましょう。

持田製薬では、「子宮内膜症」をはじめ「産婦人科」領域の疾患において、独創的な新薬の研究開発に真摯に取り組み、医師や患者さんに新たな治療の選択肢を提供しています。私たちはこれからも社は「先見の独創と研究」を掲げ、医療の発展に貢献してまいります。

**持田製薬株式会社**  
東京都新宿区四谷1丁目7番地  
MOCHIDA 電話(03)3358-7211(代) 〒160-8515

# 挑戦を続ける 製薬産業

## 【世界の製薬市場と国・地域別シェア】



これから15年までの動きであります大きな市場の動きであります大きな市場である米国と第2位の日本成長純化だ。IMSジャパンの調査によると、市場が約68兆円のうち米36億円以上を売り上げる大型薬(ブロックバスター)が相次いで特許切れを換を進めている。

## 世界の動き 日本の動き

世界的に製薬企業のあり方が変わってきている。これまで製薬市場の中心だった日米欧の成長が鈍化。代わってB.R.I.C.S.(ブラジル、ロシア、インド、中国)などの新興国が市場の牽引になってきた。また、年間1,000億円以上を売り上げる大型薬(ブロックバスター)が相次いで特許切れを迎えて恒久化されるよう、引き続き取り組んでいます。

日本は世界第3位、現時点ではアジアで唯一の新薬創出

## 日本製薬工業協会会長

アダ木 功氏

日本製薬工業協会(製薬協)のメンバーである研究開発型製薬企業の使命はより有効で安全な新薬を創出し、患者を中心の医療の実現に寄与していくことです。また、政府の「新成長戦略」において、製薬産業は「ライフ・サイクル戦略」を担う重要な産業として、「健康長寿社会」の実現を牽引する役割を果たすことが期待されています。このようないくことです。また、日本は世界第3位、現時点ではアジアで唯一の新薬創出



## 革新的な医薬品の創出

革新的な医薬品の創出には、優れた新薬をより早く継続的に創出することを可能とする仕組みです。堅苦しい課題である未承認薬・適応外薬の開発要望に対し、製薬企業は真摯に対応しており、11年3月末において未着手のものはゼロになりました。当加算が各社の対応を後押ししていることは明らかであり、次期薬価制度改定においてルールと

して恒久化されるよう、引き続き取り組んでいます。

日本がライフサイエンスに大きな差があります。韓国、中国などアジア諸国においては、税制も含めた創業支援策として強力に進めています。日本の地位を今後も維持・向上させるためにには、製薬企業の活動の全般(生産、研究、雇用、投資、納税)について継続して発展させるための政策が必要です。

2010年度に試行的に導入された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」は製薬企

業の開発費用の投資回収を早

めに、優れた新薬をより早く継続的に創出することを可能とする仕組みです。堅苦しい課題である未承認薬・適応外薬の開発要望に対し、製薬企業は真摯に対応しており、11年3月末において未着手のものはゼロになりました。当加算が各社の対応を後押ししていることは明らかであり、次期薬価制度改定においてルールと

して恒久化されるよう、引き

続き取り組んでいます。

日本がライフサイエンスに大きな差があります。韓国、中国などアジア諸国においては、税制も含めた創業

支援策として強力に進めています。日本の地位を今後も維持・向上させるためにには、製薬企業の活動の全般(生産、研究、雇用、投資、納税)について継続して発展させるための政策が必要です。

2010年度に試行的に導入された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」は製薬企

業の開発費用の投資回収を早

めに、優れた新薬をより早く継続的に創出することを可能とする仕組みです。堅苦しい課題である未承認薬・適応外薬の開発要望に対し、製薬企業は真摯に対応しており、11年3月末において未着手のものはゼロになりました。当加算が各社の対応を後押ししていることは明らかであり、次期薬

価制度改定においてルールと

して恒久化されるよう、引き

続き取り組んでいます。

日本がライフサイエンスに大きな差があります。韓国、中国などアジア諸国においては、税制も含めた創業

支援策として強力に進めています。日本の地位を今後も維持・向上させるためにには、製薬企業の活動の全般(生産、研究、雇用、投資、納税)について継続して発展させるための政策が必要です。

2010年度に試行的に導入された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」は製薬企